

# 脳活動計測実験 参加者募集

私たちの研究室では、ひとの言語・非言語によるコミュニケーション能力が、いかなる脳の働きによるものを明らかにする目的で脳機能計測を行なっています。ひとの脳が言語・非言語によりどのように働くのかを明らかにしていくことにより、認知機能の評価およびメカニズムの解明につなげていきたいと考えています。

## 方法

**fNIRS(機能的近赤外分光法)** という、頭に小さな検出器をつけて脳の活動を調べる装置を使います。脳が活動するとその部分の血液量が増えます。fNIRSでは、近赤外光(テレビのリモコンに使われている光)を使って脳の血液量の変化を測定し、脳のどこがいつ活動しているのか調べます。

## 時間

実験により異なりますが、説明・準備・計測を含めて、一回の所要時間が**およそ70分**です。脳活動を測定しながら、言葉の課題を実施して頂くことをお願いします。

## 登録と参加

まず、実験参加をご登録ください。ご登録は電話またはメールにて受け付けております。ご登録いただいた皆様には、実験を実施する際、詳細をご連絡させていただきます。実験内容を十分ご理解頂いた上で、同意を頂ければ、実験に参加して頂くことになります。実験では**被験者様の「自由意志」**を尊重いたします。一度参加を決めても、いつでも参加を取りやめることができます。

## 安全性

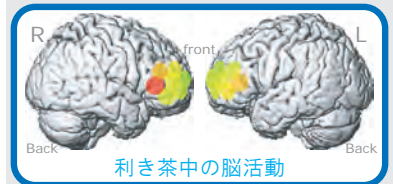
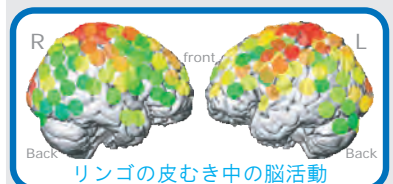
計測に用いるfNIRS装置は人体に対する**安全性が確認**され、教育機関や病院などでも使われています。また、実験は当大学の倫理委員会の規定に従い、倫理面と安全面に十分な注意を払って実施します。

## プライバシー

ご登録いただいた個人情報は厳正に管理し、当研究室における被験者募集の目的以外では、使用いたしません。また、研究結果は論文ならびに学会にて発表しますが、個人を特定した情報は一切公表いたしません。計測に際する**プライバシーは厳守**いたします。



## 研究例



## ただし、次の方は実験にご参加になれません！

- 過去に脳疾患や言語障害の既往のある方
- 脳の活動に影響を与えるお薬(抗うつ剤、抗てんかん剤、眠気を催す風邪薬、抗アレルギー薬)を常用されている方
- 現在頭部に損傷等がある方
- 日本語を母国語としない方

## これまでの研究成果

- Language-specific cortical activation patterns for verbal fluency tasks in Japanese as assessed by multichannel functional near-infrared spectroscopy. Brain & Language 126, 208–216 (2013).
- Multichannel fNIRS assessment of overt and covert confrontation naming. Brain & Language 121, 185–193 (2012). 他多数

スケジュールは  
**Dan Lab Chuo**  
で検索！

ご参加いただいた方には、  
謝礼をお渡しいたします  
図書カード1000円！

脳活動計測実験は  
**2942**  
で実施します

ご参加お待ちしております！

<http://brain-lab.jp/>

お気軽にお問い合わせください！！

中央大学工学部人間総合理工学科  
檀研究室 (石田、弘川)

03-3817-7272  
[isdhrk@tamacc.chuo-u.ac.jp](mailto:isdhrk@tamacc.chuo-u.ac.jp)

〒112-8551  
東京都文京区春日1-13-27

